

# 社会資本未来プラン

～戦略的な投資とマネジメントの最適化～

平成23年3月策定

平成28年3月改定



# 社会資本未来プラン

## 《 目 次 》

I	社会資本未来プラン改定に当たって	1
1	社会資本未来プラン改定の趣旨	1
2	社会資本未来プランの主な見直し内容	2
3	改定後のひろしま未来チャレンジビジョンの概要	2
II	社会資本未来プランの基本事項	3
1	社会資本未来プラン策定の趣旨	3
2	社会資本未来プランの期間	3
3	社会資本未来プランの基本構成	4
III	社会資本の現状とあるべき姿	6
III-1	社会潮流・本県の特徴	8
III-2	社会資本の現状	10
III-3	10年後の社会資本のあるべき姿	12
IV	社会資本マネジメント方針	16
IV-1	社会資本整備の重点化	18
IV-2	社会資本ストックの有効活用	30
IV-3	社会資本の適正な維持管理	34
IV-4	3つのマネジメント方針を効果的に進めるための施策・イノベーション	36
V	参考資料	48
1	SWOT分析による戦略の構築	48
2	広島県社会資本関係水準データ	50
3	用語解説	55

# I 社会資本未来プラン改定に当たって

## 1 社会資本未来プラン改定の趣旨

- 「社会資本未来プラン」は、本県の総合戦略である「ひろしま未来チャレンジビジョン」(平成 22 (2010) 年 10 月策定, 平成 27 (2015) 年 10 月改定) が目指す県土の将来像を実現するための社会資本マネジメントの基本方針として、平成 23 (2011) 年 3 月に策定しました。
- この「社会資本未来プラン」においては、「社会資本整備の重点化」、「社会資本ストックの有効活用」、「社会資本の適正な維持管理」の 3 つの基本方針を掲げ、これらの基本方針と合わせて、「効果的に進めるための施策・イノベーション」を実施することにより、本県の「強み」と「潜在能力」を最大限に活かし、最少の経費で最大の効果を発揮させる取組を進め、これまでの 5 年間で、井桁状の高速道路ネットワークの形成や「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」の策定など、一定の成果が発現したところです。
- 一方、この間、平成 26 (2014) 年 8 月には、広島市において、大規模土砂災害が発生するなど、新たな課題も生じています。
- こうした中、「ひろしま未来チャレンジビジョン」においては、本県を取り巻く様々な情勢変化を踏まえ、これまでの取組の成果や見え始めてきた変化の兆しをより確かなものとし、成長への好循環にしっかりと道筋をつけ、本県の目指す姿(将来像)の実現に向けて、県民の皆様と一緒に「一歩先へ」踏み出すため、従来のチャレンジビジョンを発展的に見直し、新たな挑戦を推し進めていくこととしました。
- この「社会資本未来プラン」においても、今回の「ひろしま未来チャレンジビジョン」改定と整合を図りながら見直し、これまでの成果を踏まえた県土の更なる発展や新たな課題解決に向けて、積極果敢に挑戦し、本県の目指す県土の将来像の実現に向けて、時代に対応した、戦略的・計画的な社会資本のマネジメントを推し進めて参ります。

### 社会資本未来プランに基づく取組の成果と課題(主なもの) ◇: 成果 ◆: 課題

#### [全体]

- ◇事業の壁を越えた重点化方針による戦略的な整備により、プラン前半の事業箇所は概ね計画どおり進捗
- ◆高齢化した公共土木施設の割合は急激に増加することが見込まれており、老朽化対策は喫緊の課題
- ◆人口減少社会が進展する中、今後の社会資本マネジメントのあり方の検討が必要

#### [社会資本整備の重点化]

- ◇短期集中戦略による重点的な投資により、井桁状の高速道路ネットワークが形成
- ◇防災・減災対策には計画的に取り組み、道路法面の崩落など緊急対応が必要となった場合は年度中でも機動的に対応
- ◆井桁状の高速道路ネットワークの強みを最大限活かしつつ、これを補完する企業活動を支える物流基盤の充実等への取組強化が必要
- ◆プラン策定後に発生した大規模な災害(H26.8土砂災害、H23.3東日本大震災)を踏まえ、防災・減災対策の加速化が必要
- ◆中四国地方における拠点性向上を図るため、グローバルゲートウェイ機能の一層の強化が必要

#### [社会資本ストックの有効活用]

- ◇既存道路の局部的な線形改良などによる機能改善など計画的に実施
- ◆整備された社会資本を最大限活用するため、ハードと一体となったソフト対策の更なる充実が必要

#### [社会資本の適正な維持管理]

- ◇インフラ老朽化対策の中長期的な枠組みや主要な公共土木施設に係る修繕方針の策定、修繕費の試算・公表を実施
- ◆必要な修繕費を確保するとともに、コスト縮減、国・市町等との連携や共同体制の構築が必要

## 2 社会資本未来プランの主な見直し内容

- (1) 社会資本整備の重点化については、プラン前半では、短期・中期・長期の取組期間に対応した7つの重点化方針を掲げて「選択と集中」による整備に取り組んできたところであり、プラン後半では、7つの重点化方針の枠の中で、後半5年間に於いて集中的に取り組む項目を選定して戦略的に整備を進めていきます。
- (2) 社会資本の適正な維持管理については、「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」を策定し、主要な26施設の公共土木施設について修繕方針を策定するとともに、修繕費を試算して公表したところであり、概ね10年程度で安定したインフラ老朽化対策が恒常化する状態を実現できるよう、着実に老朽化対策を推進していきます。

なお、今回の見直しに際しては、改定時期を迎える事業別整備計画と計画期間を揃えた上で、並行して策定するとともに、地域における総合的な調整手法の充実強化を図る観点から、市町へ一括で意見聴取を行いながら策定しています。

## 3 改定後のひろしま未来チャレンジビジョンの概要

<b>基本構成</b>	<p>おおむね10年後を展望し、現在本県が直面している課題や今後深刻な影響を受けるおそれがある問題に対して有効な手立が講じられない場合に予測される将来を明らかにした上で、県民みんなが目指す姿（将来像）を描き、これを実現する取組の方向や戦略を示したものです。</p> <p>また、平成27（2015）年10月の改定では、本県の人口の現状と将来の展望を提示する「人口ビジョン」についても、一体的に策定しています。</p>
<b>基本理念</b>	<p>将来にわたって『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島県の実現</p>
<b>目指す姿</b>	<p>仕事でチャレンジ！暮らしをエンジョイ！活気あふれる広島県 ～仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現～</p>
<b>目指す姿の実現に向けた4つの挑戦</b>	<p>「人づくり」、「新たな経済成長」、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」の4つの政策分野を相互に関連させ、相乗効果をもたらしながら好循環させることにより、「目指す姿（将来像）」の実現に向けた様々な「挑戦」を行います。</p>

**新たな経済成長**  
産業イノベーション  
農林水産業  
観光  
交流・連携基盤

**経済**  
(活力のエンジン)

**人づくり**  
少子化対策  
女性の活躍  
働き方改革  
人の集まりと定着  
教育  
多様な主体の社会参画

**人**  
(力の源泉)

**豊かな地域づくり**  
魅力ある地域環境  
瀬戸内  
中山間地域  
平和貢献

**地域**  
(豊かさの創出)

**安心な暮らしづくり**  
医療・介護  
健康  
福祉  
環境  
防災・減災  
消費生活  
治安

**暮らし**  
(安心の確保)

＜推進する上での視点＞

- 1 イノベーション
- 2 ファミリー・フレンドリー
- 3 都市と自然の近接ライフ